

電気科学館開館 75 周年記念スペシャルナイト

「“わが町”の天象儀(プラネタリウム)」の実施について

石坂 千春*

概要

大阪市立電気科学館が開館75周年を経たことを記念して、スペシャルナイト「“わが町”の天象儀」を実施した。参加者へのアンケートを実施したので併せて報告する。

1. はじめに

電気科学館の開館75周年を記念して、電気科学館時代からプラネタリウムとともにあった加藤館長の講演と、ラストシーンに電気科学館のプラネタリウムが登場する川島雄三監督の名作「わが町」の特別上映を行ない、併せて、大阪市指定文化財として静展示されているツァイスII型投影機に、特別にランプを挿入して灯をともし、一ときの復活に挑んだ。

ツァイスII型投影機を点灯するに当たっては、10月31日に明石市立天文科学館の長尾高明館長に來館いただき、移設以来、初めて内部を調査した。その結果、ランプは生きており、通電が可能であることが分かった。ただし、急激に電圧を上げると熱膨張によって恒星レンズや電球が割れる恐れがあるため、予熱した上でスライダックによって徐々に電圧を100Vまで上げることにした。



図 1. チラシ・デザイン



図 2. 長尾高明氏による分解調査(上)と、
恒星球の内部(下)

*大阪市立科学館学芸課/中之島科学研究所

2. 実施要項

当イベントは下記の要領で実施した。

当初、映画の見やすさを考慮し、最前列は使用しないことにし、定員は250名としていたが、新聞報道等による反響が大きく、問い合わせが増えたことから、定員を280名に増員した。それでもチケットは事前に完売した。

- ・日時:平成25年3月16日(土)17:30~21:00
- ・場所:プラネタリウムホールおよびホワイエ
- ・対象:18歳以上
- ・料金:1,000円

※オリジナル絵はがき「ツァイス」をプレゼント

- ・定員:280名
- ・チケット:前売り/メール予約(当日券は発行せず)
- ・展示:参加者から事前にハガキで思い出を送ってもらい、ツァイス横に展示。
- ・販売:オリジナル絵はがき、クリアファイル、70周年記念誌、特製ネクタイピンほか

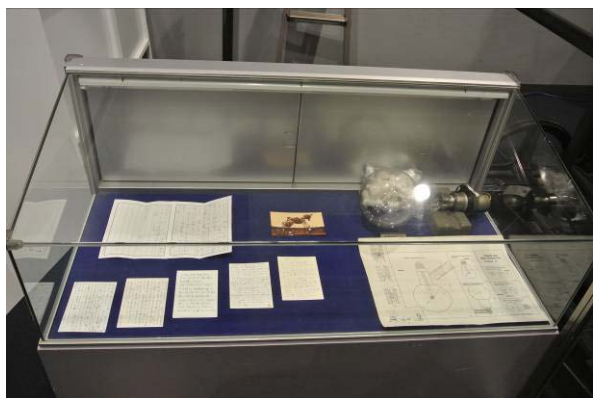


図2.「電気科学館の思い出」展示

・スケジュール

- 17:30 開場(ツァイスII点灯)
- 18:00 加藤館長講演会「電気科学館の思い出」
※18:00~18:30 ホワイエ無料開放
- 18:40 休憩
- 18:50 「わが町」上映会(98分)
- 20:30 「わが町」終映
- 20:40 終了(ショップ販売、撮影タイム)
ツァイスII消灯
- 21:00 撤収完了

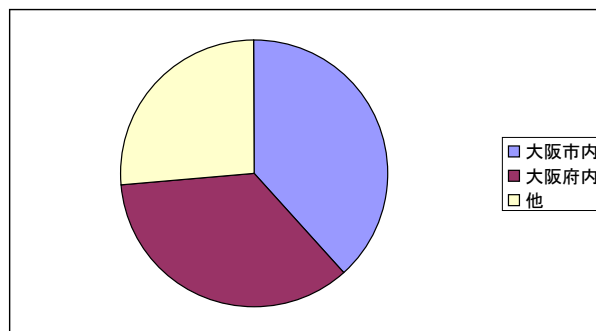
3. アンケート結果

当日参加者には、アンケートにご協力いただいた。回答は117件あった(回収率49%)。

以下に結果を紹介する。

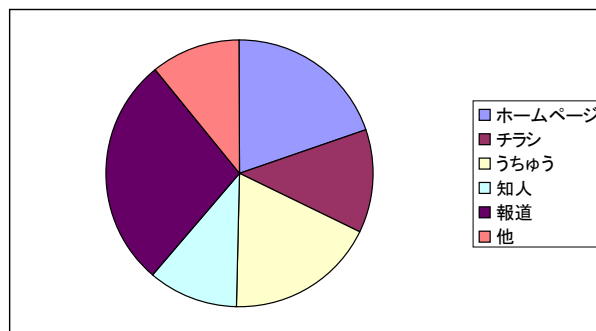
3-1. 設問1:参加者がどこから来たか

大阪市内 38%、大阪府内(大阪市以外)35%、その他 27%であった。



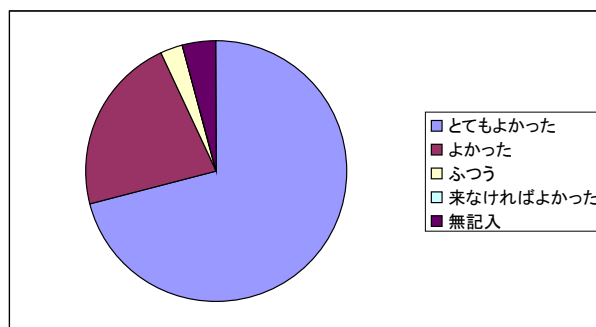
3-2. 設問2:参加者への告知方法

新聞等の報道で知った参加者が28%で最も多かった。ついで当館のホームページが20%、月刊うちゅうが18%とつづいた。



3-3. 設問3:満足度

「とてもよかった」+「よかった」で93%を占め、「来なければよかった」は皆無であった。また無記入の5名のうち、3名は「よかった」欄に感想を書いてあった。



3-4. 良かった点と改善すべき点

(1)良かった点

- ・遠くからも参加しやすいネット予約の配慮
- ・昔のカールツァイスII型天象儀が見られてうれしかった(多数)
- ・25年ぶりの天象儀の光に感動しました(多数)
- ・久しぶりになつかしいプラネタリウムに明かりがとまり、

- 感動した。(多数)
- ・久しぶりに最古のカールツァイスに再会できた
 - ・我が恩師カール・ツァイスⅡ号機が再び星座を投影して下さった時
 - ・25年ぶりの光はキレイだった。
 - ・見たい、見たいと思いながら24年前の電気科学館閉館の際に来ることができず見られなかったツァイスⅡの星を見られたこと。
 - ・プラネタリウムの懐かしい光が見られただけで満足
 - ・電気科学館や古い大阪が懐かしかった(多数)
 - ・電気科学館の歴史と、いかに愛されていたかが分かった。
 - ・なつかしい写真や映画がゆっくり見られた
 - ・館長さんのお話がとても良かった。残りもまた聞きたいです(多数)
 - ・おちついた以前と同じ語りでお話が聞けたことうれしかったです。館長の話を用意されていた。最後まで聞かせていただき良かったです。ただ映画もストーリーは重たかったですが(心のすれ違い)風景は興味深く何より四ツ橋のプラネタリウム(あの生駒の大阪城のシルエット)そしてあのプラネタリウムの入り口などとてもなつかしいかったです。
 - ・お話も良かったし、カールツァイスⅡに灯が灯ったとき感動した。
 - ・加藤館長の解説が拝聴できて良かったです。
 - ・貴重な歴史的写真や解説をありがとうございました。電気科学館設立の経緯がよく分かりました。
 - ・電気科学館の生い立ち等聞く事ができたこと等
 - ・館長の解説は端的で分かりやすく科学館の歴史を語られてしみじみと聞きました。
 - ・講演、説明(講演の先立ての)とても分かりやすく満足。
 - ・講演が事前の良い解説となった。映画はとても感動的だった。
 - ・貴重な昔の写真と共に加藤館長のお話を聞く事ができたこと。



図6. 加藤館長講演「電気科学館の思い出」

- ・古いプラネタリウムや古い映画を見られておもしろかった。
- ・映画が良かった。おもしろかった。(多数)
- ・「栄光なき天才たち」という漫画で川島監督を知っていました。見ていて本当にうれしかったです。
- ・初めて織田作、川島監督の映画を見られてよかったです。
- ・昔の投影が見られたこと。
- ・プラネタリウムと映画との取り合わせの妙
- ・館長さんのお話も映画も良かったです。昔からベンケットのターヤんの言葉がずっと胸の中にあり、やっとこれが映画の中での彼であるということが分かりました。
- ・懐かしい風景と大阪の人情に触れました。
- ・館長のお話とても感動しました。とても良かった。
- ・電気科学館設立時の大阪の様子について詳細な解説が聴けたこと。
- ・知らなかった事が多く、非常に勉強になりました。大阪人としてわが町の誇りです。
- ・大阪の歴史を改めて思い出すことができた
- ・知らない昔の大阪が理解できた(複数)
- ・資料の整理と館長のお話が聞きやすかった。
- ・お話もよく分かりました。映画もよかったですので作品を読むつもりです。
- ・長い間会っていない人とたくさん会えた。
- ・科学の大切さ感動しました。
- ・プラネタリウムというものは科学を学ぶことだけではなく人の心に訴えかけるものだと感じられたこと。
- ・すべて

(2)改善点

改善すべき点として、次のような意見があった。

- ・特になし(多数)
- ・なし。今のままの科学館でいてください
- ・特にないですが、今度は初代の機械が動けば良いと思います
- ・ない。またこのようなイベントを期待しています
- ・もっとたくさんの方が参加できる工夫を!
- ・映画に関する紹介をもっと具体的にしてほしい。投影機の仕組みなども言及してほしい
- ・加藤先生の生解説が聴きたかった
- ・もうすこしカールツァイスの点灯を見たかった
- ・メンテナンスが大変だと思いますが現行モデルとの比較上映ができれば素晴らしいと思います
- ・裏口にイベントへは正面玄関に並ぶように記されていましたが前にも似たようなことがあったのでプラネタリウムホール前に並んで正解でした。待ち場所などは

統一していただきたいと思います。

- ・スライド、映画の投影、もう少し上方だとよかったです。リクライニングシートで首を起こして見ると首がちょっと痛くなります。
 - ・映像をもう少し大きくしても良いと思った。
 - ・織田作はいらない(むつかしい)
 - ・映画はちょっと長かった
 - ・電話でチケットの件をお聞きしたとき、メールで予約できることを教えてもらったと思います
 - ・チケットがインターネットでできるとは知らなかった電話で問い合わせた時にいってくればよかったのに
- ※注)おそらく、問い合わせ時に予約分は既に完売していたため電話では案内しなかったものと思われる。

3-5. 設問5: 参加者の年齢

40代以上が90%、うち70代以上は全体の18%であった。

4. 電気科学館の思い出

4-1. 「電気科学館の思い出展」

本イベントを開催するに当り、事前に「電気科学館の思い出」を募集したところ、以下6件の「思い出」が寄せられた。

- ・昭和23年私は四ツ橋の電気科学館へ小学校の遠足で行きました。今も鮮明に浮かぶのは真黒な巨大な蟻の頭の様なツァイスII型投影機です。映し出された星空を思い出せないのが不思議で考えた結果『恐かったのだ』と気付きました。当時の子供にとっては鉄の塊は恐怖的B29と同類に思えたのでしょう。その彼が75歳の誕生日を迎え平成の今私と再会しているとは感慨無量です。あの日からずっと続いてくれた平和な日々。これからの孫の時代もプラネタリウムが『感動の科学』として思い出に残る世紀が続きますようにと心からお祈りいたします。お祝のことば (室 まさこさん)
- ・私は四ツ橋の電気科学館のプラネタリウムを当初の頃拝見して驚きと共に星空に魅せられました。北斗七星は名は知っていましたがおとめ座、へび座、さそり座、おうし座等々、こと座ベガ(織女)、わし座アルタイル(牽牛)、Wが逆のカシオペヤ、オリオンの三ツ星、すばる(むづら)、夢多い乙女時代から90歳の現在まで喜び愁いの時も癒して励ましをいただきました。星の界の歌大好きです。ここ十五年ほど星が見えません。人工衛星と思うのが西に見えます。私はせめて八月十五日の夜だけでも満天の星を子供達と成人に見せてあげたい。盆、終戦の日、万霊の冥福をお祈りして、自然の素晴らしさと晴天を祈って。プラネタリウムますます利用活躍してください。(松本美喜さん90歳)
- ・55年前、中学の修学旅行で大阪に来た時、四ツ橋の電気科学館に行きました。田舎の学校だったので、当時はとても珍しく、会場も今と違って狭く、座る場所がなく、新聞を敷いて見た思い出があります。今は近くに住んでいるので投影が替わるごとに主人と見に行きます。今月も見ました。「わが町」もとても楽しみにしています。(荒井祐子さん)
- ・父の会社が四ツ橋にあったのと、小3の理科で星の学習をしたのが、電気科学館に行くきっかけでした。当時は月替わりでプラネタリウムの内容が変わったので、毎月でも行きたかったのですが、そういうわけにもいかず、3,4ヶ月に1回ぐらいのペースで通っていました。父に「展示は変わっていないから、今日は見なくてもいいやろ」と言われても毎回会いたかった透明人間。プラネタリウムのドームの外側にぐるっとあった食堂で外の景色を見ながら飲んだクリームソーダ。ジャリジャリと鎖の音をたてながら下りてくるエレベーター。目を閉じると今でも鮮明に電気科学館が思い浮かびます。中学、高校になり足が遠のいたのですが、大学をなんば経由で通うことになり、1回生の頃は、再び電気科学館に行くようになりました。水曜日の昼からの授業が1コマしかなかったので、15:45からのプラネタリウムを毎月のように見ていました。しかし2回生以降授業が忙しくなり、また足が遠のき、気付いたら中之島に移転していてびっくりしました☆ (山本節子さん)
- ・初めて四ツ橋の電気科学館に連れて行ってもらったのは小学校1年の夏休みでした。その日、仕事が休みだった母に「電気科学館、連れてったる」と嬉しそうに言われ、何やら言葉の響きから“未来的なもの”を感じました。プラネタリウムの時間までロボットのスター君を見て、まず感激。その後のプラネタリウムのドーム内に投影された満天の星空は地球に居ながら幼い私を憧れの宇宙に連れて行ってくれた。大恩人です。帰宅後“バイブル”である「天文気象図鑑」を見たら、その日行ったプラネタリウムがちゃんと載っていました。あれから更に宇宙好きにしてくれたのはカールツァイス様です。(和田美さきさん)
- ・私は昭和50年頃まで大阪ミナミの現在アメ村(北炭屋町)に住んでいて少年時代2階から南側は高島

屋の奥に通天閣、北側に電気科学館が見える家でした。夕方、木綿橋の下川面に映る科学館を清水橋のたもとから見る風景が好きでした。それも38年、高速道路建設が始まり四ツ橋と共に消え淋しかった思い出です。科学館内は遊びの一環で階段を上り階上のプラネタリウムに入って星座をながめ、4・5階に下り展示物を見るのがコースでした。もう一つ忘れられないのが辰巳柳太郎・南田洋子主演の映画「わが町」。プラネタリウムで主人公が亡くなるラストシーンです。(松尾義市さん)

4-2. アンケートの自由記載欄

参加者アンケートには、電気科学館の思い出やイベントの感想を書いていただく自由記載欄を設けた。

多くの思い出が寄せられた。

- ・小学生の時学校から(堺市立榎小学校)プラネタリウムの見学に来たことを思い出しました。(昭和30年代)それから宇宙に興味を持つようになりました。母にねだって個人でも見学に来たのを覚えています。
- ・どうやってドームに移動させるのか?とっていたら、その場投影でした。しかし柔らかい星の光がすばらしく、なつかしく、光がともった直後、会場からもたらされた声に感動しました。みんなでタイムスリップしたような気分でした。星の光を手にとつてみました。それだけでこのイベントは90%満足でした。
- ・小1の夏休みに妹と共に母に連れて行って貰ったのが最初です。帰宅後の宿題の絵日記用にと母が急いで手帳に概略図を描いてくれましたが、後で見ると、保育社の「天文気象図鑑」に昼間見てきたプラネタリウムが写真と解説つきで載っていました。暗くなるまで様々な名曲もかかっていた。覚えているのはチャイコフスキーの弦楽四重奏第一番の第二楽章「アンダンテ・カンタービレ」でした。ドーム内の投影された星座は記憶通りに図鑑で確認しながら描きました。「いつか宇宙に行こう」と本格的に思い始めたのもその頃からです。他の展示物では電磁石の装置が好きでした。電気と磁石はつながるとパワーが増えるのを感じてほしいと思います。
- ・天象儀で見たプラネタリウムは小さいけれどよかったです。役目を終えてもこうやってまたみんなで見られるのもよかったです。スペシャルナイト来たいと思います。色々なスペシャルをお願いします。ありがとうございました。
- ・四ツ橋にあった科学館に子どもを連れて初めてプラネタリウムを見て大変感動したことが思い出します。それ以来、子どもは気象や天文に深く興味を持ったように思います。
- ・コンピュータの仕組みや電磁石の実験が楽しかったです。屋上で月食を見たことがありました。
- ・子供の頃好きでよく親に連れて行ってもらったものです。なつかしいです。
- ・星友の例会で電館に通いました。
- ・映画「わが町」に登場したプラネタリウムで、まさにその映画を観る事ができたというのが感動でした。大阪にやってきてすぐに「わが町」を見たときにとっても感動しましたことを昨日のここのように思い出しました。今日は夫と一緒に見に来ました。ありがとうございました。
- ・小学校の遠足で四ツ橋にあった電気科学館に行っではじめてプラネタリウムをみて、とても感激したことを覚えています。
- ・色々な企画イベントをこれからも楽しみにしています。
- ・幼稚園の遠足で来て写真が残っています。電気科学館最後の年に星の友の会に入会し現在に至っています。手塚治虫さんの講演も聞きました。
- ・小学校の時に行きました。
- ・子供の頃よく星を見に来ました。久しぶりの古いやさしい星灯りととてもよかったです。
- ・これからもこのような歴史があるイベントを楽しみにしています。
- ・私は82歳です。大阪市内に住んでいて小学校から二度連れてきてもらいました。戦後焼跡の姿を思い出して感無量です。
- ・館長さんのお話がとても素敵でした。映画に大変感動致しました。ありがとうございました。
- ・昔「わが町」をみて感動したことを覚えており今回の催しでぜひもう一度と思いました。S36年四日市から大阪に移転してきました。その年に四ツ橋の科学館へいきました。まだ25歳くらいのときでした。今日の催し感謝いたします。加藤館長のお話大変よかったです。
- ・50年ぶりに見ました。ありがとう。
- ・織田作原作の映画に期待して申し込んだが、期待以上の出来(原作に非常に忠実ではあるが)で堪能しました。館長講演も◎
- ・12月にプラネタリウムを見に来ましたが、今日は日本で初めてのプラネタリウムのあわいけれどやさしい光の星たちを見られてよかったです!
- ・住んでいた港区から市電に来て四ツ橋科学館の前を通り心齋橋へ行った事を思い出します。戦後の混乱期、余り科学館に足を運ばなかったのが残念です。
- ・幼稚園の頃祖母に連れられて見に行った記憶があります。透明人間の部屋が好きでずっとながめていました。

- ・小学校低学年の頃母を毎月見に来ていました。今日は懐かしい展示の写真(透明人間の部屋など)を見る事ができてよかったです。
- ・子供の頃行きました。先生になって最初に担任した子ども達と春休みに電気科学館に行ったのもつかしい思い出です。
- ・館長さんの電気科学館のお話懐かしく聞かせていただきました。南十字星もよかったです。
- ・小学校の社会見学で電気科学館の見学に来ました。プラネタリウムに驚いて家に帰ってプラネタリウムの写真を見て、画用紙に書いたこと思い出します。あんまりうれしかったので自分の書いた絵を近所の駄菓子屋さんのおばちゃんに見せに行きました。おばちゃんもうれしそうでした。
- ・昭和期を大阪で過ごしましたが、子供の頃で今日のお話は新鮮でした。廃線になった路面電車、地下鉄線の設立改めて勉強させていただきました。
- ・小学校当時何度も見に行った思い出があります。
- ・小学生の時に学校から来たこと子供ができてから子ども達やいとこたちと四ツ橋の電気科学館に行った事をなつかしく思い出しました。
- ・幼稚園の時七夕の日に来ました。とても感激しました。中学生の頃にも来ました。幼い頃の天象儀に会えてうれしくとても良かったです。投影して頂きありがとうございます。電気科学の話も知らないことばかりでした。未来志向はこれからも続いていくことと思います。
- ・チンチン電車で四ツ橋電気科学館前を通り心齋橋へ行った若い頃を思い出しました。
- ・小学校の頃学校から遠足で見学に行き、それ以来星や星座のことが好きになったような気がします。
- ・よかったです。懐かしい父や母を思い出し、昔の生活大変だけど人情ですね。楽しかったです、
- ・行ったことはないがよく知っていた。館長が私と同姓だったことを覚えています。「わが町」も感激昔そのもの。
- ・昭和28年頃に一度見に来た。懐かしいです。オダサク「わが町」が興味深かった。
- ・長女(現在30歳)が箕面自由学園幼稚園の時、七夕行事で来館しました。その後家族でも来てプラネタリウムを楽しみました。今日25年ぶりに写し出されたというカールツァイスⅡ型の光に感動しました。5年前に電気科学館の思い出の企画があった時写真と記事も投稿して立派な本を送って頂き本当にありがとうございました。大切な本の思い出となりました。



図7. カールツァイスⅡ型投影機を見守る参加者

- ・肥後橋にあった会社が引っ越して四ツ橋に行きました。旧館の斜め前くらいの場所でオリックスの工事中でした。日本地図のドームを見てみたかったです。大阪の写真がおもしろかったです。もちろん映画も、です！
- ・昭和14年にはじめてプラネタリウムを見て感激した。西区堀江の小学校のクラブ当時何回となくこのカールツァイス製プラネタリウムを見に行ったものです。
- ・幼稚園の時に来た。それから星に興味をわき22歳の時に当時の電気科学館の星の友の会に入った。昔の学芸員室や5Fの売店」のパンとか思い出がある。毎月第四金土日曜日にプラシアターの思い出がある。
- ・小～中の頃四ツ橋星の会毎日双子の兄と2人でお世話になりました。「天象」は今でも大切に持っています。終わった後「天文室」にお邪魔して和やかに過ごさせていただいたことなつかしく思い出します。加藤先生には特に天象で紹介された岡山の天体物理観測所(日本一の望遠鏡)に行くというおしゃべりをした後で、自宅まで行き方を連絡いただき、子供心に本当に感動しました。プラネタリウムは「カラーじゃない」のが当時でしたが、火星は赤に土星は「輪(ひげ)」がついていたのがおもしろかったこと、また確かキリスト教徒の折の東方の3博士が見た星は惑星が集まったのでは？と1000年くらい星をもどして(裁善がどうなっていたか記憶にないです)実験してくれたことをなつかしく思い出しました。
- ・小学生の頃父に連れて来られて星宇宙の魅力にとりつかれ一時はプラネタリウムのプログラム変わるたびに来館していました。
- ・大阪市西区の小学校に通っていたので遠足で何回もプラネタリウムに行きました。そのとき日本で一番最初にできたプラネタリウムと説明されていたのを今でも覚えています。「わが町」もきちんと覚えていませんが、プラネタリウムの南十字星を見ながらのシーン

- は覚えています。
- なつかしい、の一言です。
 - 電気科学館の思い出は残念ながらありませんが中学時代、この機械は大変よいものだったと言っていたのを覚えていて今日参加しました。次はぜひこの機械でドームを映してほしいと思いました。夢のある企画でよかったです。
 - 小学生、高校生の時、社会見学で奈良から来た。
 - 小5で”よつばし星の会”に入会し中三までお世話になりました。ジャラジャラエレベーター(扉です)や階段を昇り降りする際、カベの化石を探すのが楽しみでした。カールツァイスの点灯が嬉しかったです。
 - 遠足で訪れたり、デートで訪れたり大人になっても楽しめる科学館ってとても素敵だなと思います。
 - 四ツ橋の電気科学館は行った記憶がなく、今の科学館になってから来させて頂きました。実家の母が感激して、まだ幼かった長女にぜひ見学するように勧めてくれたのです。ですので、電気科学館の思い出をお聞かせ頂けて感謝です。平成元年に閉館して科学館に移転されたとのこと、そんなに昔のことではなかったのだと実感しました。私事で恐縮ですが平成元年に大病をしましたので自分自身にとっても大きな転機の年だったと、ひそかに共感致しました。加藤先生の端正な話し振りに、一層流れる歳月が美しくよみがえる思いでした。老眼鏡の話、プラネタリウムに入場する時はなるべく下のほうに座ったほうが見やすいと実感しました。(映画館だと真ん中に座るので)わが街もやはり素晴らしかったです。ありがとうございました。川島雄三監督は確か「幕末太陽伝」の監督で、日活100周年記念デジタルリマスター化上映で鑑賞して感銘を受けました。若くして亡くなられた方でその監督の作品を上映して頂けて感謝です。
 - プラネタリウムが大好きで、各地を巡っていますが、こちらが一番好きです。銀河鉄道の夜を拝見して以来ファンです。これからも頑張ってください。
 - 小学生のとき四ツ橋の電気科学館に行き種々の電気の仕事とか知ることができ楽しかったです。
 - 小学時代に夏休みの宿題をしに行ったことを思い出す。
 - 会場内の参加者同士の会話もまた長い歴史のある科学館ならではのな感じました。あちこちで語られるお話が本当に興味深く感心させられました。歴史ある科学館が存続していて羨ましく思いました。
 - 講演で当時の写真をたくさん見られたのも良かったです。普段歩いている大阪の街の往時の姿を知ることが出来ました。次、四ツ橋のあたりに行く時にはまた新たな気持ちで歩くことができそうです。
- 戦後の何もない時代にプラネタリウムを見てビックリした思い出に浸って感激です。
 - 電気科学館の資料等をきちんと残して行ってほしい。
 - 小学5年生の時、担任の先生に連れてこられて(任意参加)初めて観賞した折の感激した思いが湧き上がってきました。カールツァイス社のプラネタリウムを移動された折には涙が出る思いになりました。その先生は2年前99歳にして亡くなられましたが、いろいろな思い出に浸っております。
 - 昭和18年阪大医学部で診てもらうため来阪。四ツ橋の電気科学館へ来てプラネタリウムものをはじめて知った。大感動であった。以来科学から離れられず今に当たっている。昔のプラネタリウムの構造と機能もう少し説明してほしい。
 - わが町を昨日読み終えて今日とても感動しました。
 - 電気科学館の役割や歴史、誇りが良くわかった
 - 私は昭和11年生まれです。昔の思い出に感激です。感謝、感謝。
 - 館長さんが四ツ橋で解説されていた時小学生の私はプラネタリウムを見せていただいたのだと思います。お声に聞き覚えがありました。
 - 高校時代友人3人で毎月電気科学館に通ってました。現館長加藤先生のお声のファンでちょうど当たると友人と大喜びしたものです。そんなこともあり今日のイベントとても楽しく懐かしく拝見しました。ありがとうございました。
 - 現在60代です。四ツ橋の電気科学館には小学校の時学校から行った記憶があり、とても壮大な画面に魅入りました。それから成人になり何度か行きました。いつ見てもロマンをかきたてられるものがあります長い間大阪を離れていましたが生まれ変わった科学館に来られてうれしいです。
 - 1937年生まれで祖父に初めて四ツ橋に連れてきて貰った者として、感慨深いものがあつた。



図8. 開演を待つ参加者の皆様

- ・子供が小さい時よく来ていました。とっても楽しく見させていただきました。今日久しぶりに来て係員の方がとっても親切なのでとってもうれしかったです。昔学校で見た気がします。
- ・よく考えられています。ありがとうございました。
- ・小学校の時にきた科学館のことが思い出されよかったです。
- ・最終公演を見ているので思い出深いものがあります。
- ・カールツァイスの点灯をまたぜひ見てみたいです。今日はとても楽しかったです。ありがとうございました。
- ・生まれて二回目のプラネタリウムが電気科学館でした。
- ・佐伯先生にカールツァイス輸入のお話を色々伺ったのを懐かしく思い出しました
- ・世の中色々なものが近代化された中、昔の投影機が大切にされて暖かい光を写し出しているのに感動しました。子供たちが幼い頃ペルセウス流星群を見るため、毎年八ヶ岳の野辺山まで出かけていましたので懐かしく当時を思い出しておりました。
- ・カールツァイスの形に個人的な愛着があり、動いている姿を見せていただいたことが非常にありがたかったです。私自身博物館学芸員として勤務しておりますが、これだけの多くの方々に愛されている施設だということに感銘を受けたと同時にファンを大切にされるイベントを実施されていることに感動し、参加させていただきたいと思いました。遅い時間まで、素敵な時間を提供していただきありがとうございました。できればもう少し回数や定員を増やしていただければと思います。次回があればぜひ今回のチケットを譲ってくれた父とも来させてもらいたいです。
- ・小学時代に来て以来、久々にカールツァイスを見ました。暖かい光だと思いました。今日来て良かったです。ありがとうございました。
- ・またこうした企画を期待しています。

謝辞

スペシャルナイト「“わが町”の天象儀」を実施するに当っては、多くの方のご協力を得た。

明石市立天文科学館の長尾高明館長には、本務多忙の中、カールツァイスⅡ型投影機の調査のため来館いただいた。同館の井上毅氏には、当日、記録写真を撮影していただいた。

電気科学館で技官としてカールツァイスⅡ型投影機の保守にかかわった泉沢氏には、点灯に当たりの注意事項等をアドバイスいただいた。

映画「わが町」の上映については、株式会社・日活よりDVDおよび広報用素材をお借りした。

荒井祐子氏、松尾義市氏、松本美喜氏、室まさこ氏、山本節子氏、和田美さき氏の6名からは「電気科学館の思い出」を送っていただいた。

そして、当日、思い出のひとつを一緒に過ごしていただいた238名の参加者の皆様。

誌面を借りて、深く感謝します。



図9. 点灯したカールツァイスⅡ型投影機
(明石市立天文科学館・井上毅氏撮影)